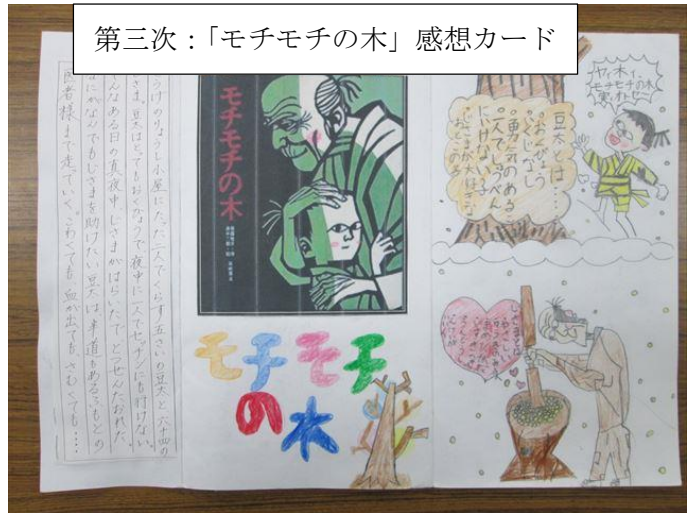


### 3年生 学習後の感想と感想カード



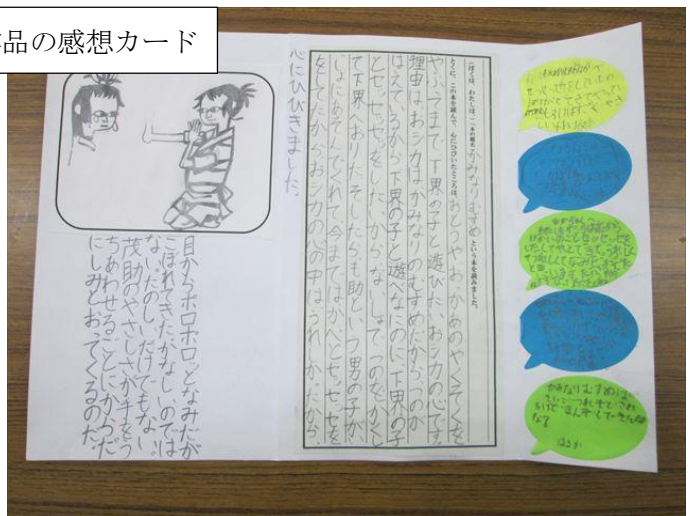
感想カードづくりの様子



第三次：「モチモチの木」感想カード



第三次：斎藤隆介作品の感想カード



#### 学習後の児童の感想

作者がわたしたちに伝えたいことは、じさまのせりふにもあった「人間、やさしささえあれば、やらなきゃならねえことはやるもんだ。」ということだと思えます。もっとくわしく言えば、「人間は、やさしささえあれば、困っている人やけがしている人がいたら、見て見ぬふりをせず、手伝ったり助けてあげたり、そういうことをせなあかん。」ということを、斎藤隆介さんは伝えたいと思います。

私が心に残っているのは、モチモチの木に灯がついているところです。モチモチの木の灯が、豆太の勇気ややさしさや強さだから、一ついいことをすれば、どんどんふえると思います。弱虫な豆太がじさまを助けに行き行って、モチモチの木に灯がついているところを見れたからよかったです。

私は、最後のじさまの言葉が心にひびきました。「人間、やさしささえあれば・・・」のところは。豆太が真夜中にじさまのために、医者様をよびに行ってくれて、豆太がいなければじさまは死んでしまっていたと思うし、この言葉は、じさまから豆太への感謝の気持ちだと思いました。

豆太は、足にしもがかみついても、じさまのことで頭がいっぱいだっただからすごい。勇気もあるし、やさしさもあるし、助け合いだっただけで豆太はできる。本当の強さはやさしさだと思えます。今までのじさまのやさしさが豆太の強い心へと変わっていった。これからの豆太もどんどん強くやさしく勇気がある子になっていくと思います。島ひきおにと同じで、心と体はどんどん強くなっていくと思います。